



「道は選んで歩いてきた」と言える人生を

校長 夏見隆晴

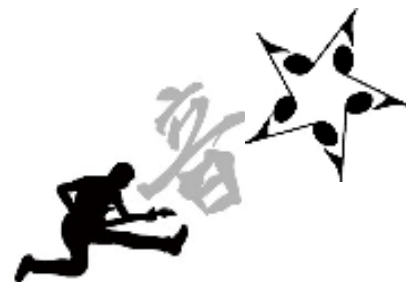
センター試験の結果も出て、高校3年生の皆さんには、己の人生の道を選びとらなければならない、最初の大きな岐路に立たされていることを、自覚して欲しいと思っています。今日まで、この学園で共に歩いてきた道は、お父さんやお母さんをはじめ、お家の方々が良いと思って、準備し歩かせてくださった道であります。そして、そんな皆さんのために、私達教職員一同も大きな期待を込めて、日々の指導に当たってきたつもりです。結果一人残らず、本当に大きく成長してくれたと、私達も自負しております。

でも、一人ひとりが、一個の人間として個性ある存在感を持って社会に出ることができるためには、なお一層の努力が必要であることも、心に深く刻みつけておいて欲しいものです。社会が要求する能力というものは、想像する以上に努力しないと獲得できるものではありません。そのための「学び」というものは、ただ受け取るということではありません。師から受けたものを理解し熟考し、長い時間をかけて己のものとし、それを社会に還元できるまで付き合うことによって、一応の完成の緒についたと言うべきものです。

本校に学ぶ者は、皆それぞれに将来への大きな夢を抱いていると、私は信じています。それならその夢を、夢のままに終わらせないで現実のものとなるように、今後は努めてみましょう。そのために、今何をなすべきかを考え、考えたことを即座に実行に移してやることです。けれども、わたしたちのほとんどが、かつて多くの夢を抱きそれを夢のままに終わらせてしまったという、ほろ苦い経験を有しているのではないのでしょうか。それはどうして、そのような結果になったのでしょうか。今一度よく考えてみましょう。

若い皆さんのこれからの人生には、選択を迫られる複数の道が、たびたび眼前に現れて立ちがたかることを、経験することになるでしょう。その時は、自分の人生をどの方向に向けて押し進めて行けばよいかを、じっくりと考えてみてください。また、お家の方々や先生方に相談を持ちかけ、ご意見を伺ってみてください。そのうえで、皆さん自身が選ぶといことを勧めます。自分の人生は自分自身が選びとり、自分自身の責任において全うしなければならないのです。自分の人生に、自らの「甘え」は禁物です。

自分にとって、「一つのこの道を選択する」ということは、他に魅力的な道があっても捨てるということです。それは自分にとって、もしかしたら心痛むことになるかもしれません。でも私達には誰も、一度に多くのことを成し遂げることが出来るほど、器用には創られていません。まずは、あなたの「一つの道」を行き着くところまで行ってみてください。そして、行き着いたと思えるところで、今一度考え直してみるのです。そうすればそこに、あなたの導き手が、再び待っていてくれます。人生は信じて行動することです。



## 軽音部のご紹介

数学科 真栄里 賢治

この場を借りて私が顧問を務める軽音部の紹介を致します。

軽音部は基本的に月曜日、火曜日の週2回練習を行っています。在籍は現在高校生5名、中学生3名の計8名と決して多いとは言えませんが、文化祭、予餞会などの校内行事だけでなく、ここ1、2年は、宜野湾市はごろもまつりにて開催されたライブギノワンの前座や、宜野湾市青少年深夜徘徊防止市民大会におけるパフォーマンスを務め、また **Fighting of Music** という中高生向けのバンドコンテストにて予選を通過し、本選出場を果たすなど、校外での活動も行ってきました。

練習する曲の候補はすべて生徒が持ち寄り生徒同士の相談の上練習していきますが、曲の年代は様々です。車のCMで起用され、先日の紅白歌合戦では「ラスボス」小林幸子さんが歌唱したボーカロイドの名曲「千本桜」、サッカー南アフリカワールドカップのNHKテーマ曲に起用された「タマシイレボリューション」などここ数年で流行した曲もあれば、洋楽ロックの定番ともいえる「Highway Star」、80年代邦楽ロックの名曲中の名曲「星空のディスタンス」など、保護者の方々世代にも喜ばれる楽曲もあります。生徒の趣味はロック好き、80年代邦楽好き、アニソン好きなど様々ですが、持ち寄った曲に関しては年代に関わらず全員前向きに「とりあえずやってみよう」と取り組むことが多いです。生徒の音楽的な懐の深さには度々感心しています。自分の趣味(考え方、やり方)に固執せず柔軟に友人の趣味に取り入れる姿勢は音楽をやっていく上でも大事だと思いますし、これは日常生活、学業にも活きるものかもしれません。

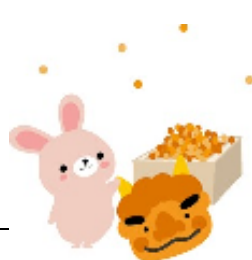
ところで、そもそも軽音楽というのはクラシック以外の音楽の総称を指す用語ですが、軽音楽の「軽」にはこれらの音楽に対する演奏の取っ付き易さが含まれていると考えることができます。つまり、気「軽」に演奏できる、誰かに教えてもらわなくても独学で上達しやすい、というのが軽音楽の魅力の1つだと思います。実際軽音部の生徒は、初心者のうちこそ多少のレクチャーを必要としても、しばらくすると独学で上達していきますし、プロの方々もほとんど独学で技を極めた人も多いのではないのでしょうか。「好きこそ物の上手なれ」の要因もあるのでしょうか、独学で何かしらの技術を向上させるという経験は、生徒自身の内面的な成長にも繋がるのではないかと思います。最近ではネット上に初心者向けのレッスン動画や有名な曲の楽譜や動画が多数掲載され、より独学で上達しやすい環境が整っており、一昔前には考えられないほど音楽的な刺激も多く、それがまたさらに独学による技術向上の意欲を掻き立てます。上述のコンテストで軽音部は本選出場を果たしたものの受賞は逃してしまった経験も踏まえ、バンドとしてのレベルアップとともに、個人の技術向上に向けて食欲に独学を行い個人練習に励んでももらいたいと思っています。

今年は文化祭もあり、また主力の高校生が最後の文化祭となるということで、軽音部は昨年以上に練習に熱が入っています。保護者の皆様の前で演奏できるのは今年11月の文化祭になると思いますが、その際はぜひ軽音部の演奏をご覧頂きたいです。

なお、軽音部では随時部員を募集中です。楽器演奏に興味のある、歌ってみたいという生徒は気軽にどうぞ。優しい先輩方が色々教えてくれますし、私も指導します。さすがにいきなり「独学で何とかしなさい」とは言いませんのでご安心を。



# 2月の予定



日・曜日	行事計画
5日(金)	漢字検定(放課後)
6日(土)	〈中学後期入試〉家庭学習日
9日(火)	C早期対策高校2年 河合全統記①高校1年 学力推移③中学1~3
10日(水)	職員会議 ※完全下校16:30
11日(木)	建国記念の日
13日(土)	授業、数学検定(午後)
20日(土)	授業
23日(火)	第5回定期試験 ~26日(金)
27日(土)	家庭学習日、東進マーク模試(高1・高2希望者)
29日(月)	卒業感謝ミサ 卒業式予行
3月1日(火)	卒業式



## ☆第5回県新聞スクラップコンテスト受賞者

沖縄県知事賞新聞感想文部門 外間 玲美さん(中1)

沖縄県PTA連合会長賞 ノート部門 辺土 百々花さん(中1)

沖縄県PTA連合会長賞 新聞感想文部門 佐野 建斗くん(中1)



# 生徒の頑張り!



## ☆第35回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクール受賞者

**中学校** 小物インテリア作品部門 最優秀賞 外間 栄美さん(中3)



小物インテリア作品部門 佳作賞 辺土 百々花さん(中1)

小物インテリア作品部門 佳作賞 大城 アリナ 姫花さん(中3)

リメイク部門 努力賞 富川 真由さん(中3)

**高校** 小物インテリア作品部門 最優秀賞 上江洲 まりのさん(高2)

小物インテリア作品部門 優秀賞 謝花 由紀子さん(高2)

小物インテリア作品部門 アイデア賞 上原 凜さん(高2)

リメイク部門(共同作品) 努力賞 上原 凜さん、謝花 由紀子さん(高2)

ソーイング部は平成8年からこのコンクールに挑戦し、今回で20回目の受賞となりました。その節目の年に、中学、高校共に最優秀賞(経済産業大臣賞下付)の評価を受けることができました。今後の予定としては、表彰式が東京都の日本工業倶楽部にて3月5日(土)に行われます。これからもソーイング部の応援をよろしくお願いいたします。